令和3年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム　報告書

団体名　　宇和島市　　（都道府県：愛媛県）

1. 当該地域の情報　（令和　3年　1月現在）

地域の課題	本市を中心とした四国西南部の宇和島圏域は日本語教室空白地域であり、特徴としては他市町と比較して国際結婚による配偶者の割合が高いことが挙げられる。また技能実習生は増加傾向であり、それは本市だけではなく周辺自治体においても同様である。しかしながら、周辺自治体も含めて外国人の就業、社会参加、コミュニティの形成、教育などの様々な体制が整っていない。 また、本市で実施したスタートアップ講座などにおいて、参加した技能実習生雇用事業者や在住外国人からは日本語教室の開催希望が強く寄せられたほか、集う場や情報交換の場、活躍する場がないことが課題として挙げられた。 今後増加が予想される在住外国人の生活支援においても、日本語教室が様々なハブ的存在となって展開させていく必要がある。
在住外国人数 外国人比率	423人 0.59%
在留外国人の状況	【主な国籍と人数】ベトナム150人、フィリピン82人、中国62人、韓国34人、カンボジア26人、インドネシア24人、タイ14人、ミャンマー7人、米国4人、カナダ3人、台湾3人 【在留資格】技能実習2号ロ155人、永住者81人、特定活動45人、日本人の配偶者等38人、定住者22人、特別永住者22人、技術・人文知識・国際業務17人、技能実習3号ロ14人、教育7人、技能実習1号ロ6人、特定技能1号6人 【滞在年数・在留期間などの状況】 技能実習生が大半を占めており、今後も技能実習生を受け入れる企業が増加する傾向にある。
在住外国人の日本語教育の現状	愛媛県国際交流協会の事業として平成14年に宇和島市において日本語ボランティア養成講座を実施。その受講生により民間団体を立ち上げて日本語教室の開講があったが、年に数回の実施のみで結果的に継続しなかった。 現在、愛媛JASL(日本語学習支援ボランティア団体)のメンバーが個人的に松山市から週2回程度、ALT数名に日本語を教えに来ている。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目			
事業の目的	宇和島市を外国人が住みやすいまちにしていくことが最大の目的であり、在住外国人の就業や社会参加など、日本語教育のみならず教室を通じて発展的な展開を目指す。当該地域の在住外国人の拠り所として日本語教室が存在し、それをきっかけに就業や教育、社会参加や外国人コミュニティの形成など、在住外国人における様々な課題に対しても良好なアプローチを図ることが可能になるのではないかと考え、本プログラムの実施により日本語教育のみならず在住外国人が住みやすいまちづくり、多文化共生の地域づくりの実現を目的とする。			
事業の概要	【地域日本語教室の実施】 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、年度前半はオンライン(Zoom)での日本語教室を実施。感染状況が縮小した年度後半には対面での日本語教室を実施。 【外国人の現況把握】 技能実習生の受入事業所を訪問。技能実習生の受入現況や今後の予定、宿舎やWi-Fi環境等をヒアリングし、状況の把握を行うとともに、日本語教室の周知や参加の推進を依頼。 【日本語サポーター育成】 定期的に日本語サポーターの勉強会を実施し、過去の日本語教室運営の振り返りや課題解決策の協議を行って、サポーターと共に教室を作りあげている。オンラインで先進地視察も実施。 【その他関連事業】 交流イベントの実施やFacebookでの情報発信など、在住外国人との交流及び情報交換の機会を継続。			
事業の対象期間	令和3年4月～令和4年3月			
前年度の実績 （2年目以降の団体のみ記載）	本プログラム2カ年目である令和2年度は、宇和島市公式情報発信媒体Facebookグループの運用を開始したことにより、市からのお知らせや教室の案内だけでなく、災害情報や新型コロナウイルスの状況等をダイレクトに発信することができた。 また、技能実習生受入事業所へのヒアリングを実施し、日本語教室への要望や懸念点など、現場の声からニーズを収集するとともに、オンラインを含めた日本語教室を全4回試行した。教室を振り返るアンケートでは「楽しかった」「こんなことがしたい」という声も多く挙がり、今後の方向性を定めることができた。			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	高橋　志野	愛媛大学国際連携推進機構	准教授	指導者等の人材育成、研修企画実施
	深田　絵里	愛媛大学国際連携推進機構	非常勤講師	指導者等の人材育成、研修企画実施
	村上　将司	宇和島市役所商工観光課	主任	学習ニーズの把握、住民への意識啓発
	藤石　桃花	宇和島市役所商工観光課	主事	学習ニーズの把握、住民への意識啓発
	岩城　美保			在住外国人やコミュニティとの情報交換
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	山田　泉	元法政大学	教授	(継続)・新規（3年目）
	犬飼　康弘	公益財団法人ひろしま国際センター	日本語常勤講師	(継続)・新規（3年目）
	御舘　久里恵	鳥取大学教育支援・国際交流推進機構国際交流センター	准教授	(継続)・新規（3年目）

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

（1）地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制

日本語教育に関する助言等、講座運営に関する助言等：新矢　麻紀子（大阪産業大学）、向井　留実子（元東京大学）、棚田　洋平（一般社団法人部落解放・人権研究所）
→これまでの経験や他地域の事例等を用い、アドバイザーとの相談も踏まえながら今年度の取り組みや日本語教育、運営について助言を受ける。

生活に関わる日本語教室の内容に関する助言等：伊藤　優子（愛媛県国際交流協会）
→愛媛県内の外国人の動向、統計等を把握し、県内の日本語教室や生活相談の状況などを踏まえた助言、展開の方策などの助言を受ける。

日本語教育検討の会議体：金瀬　聡（宇和島市教育委員会）、小櫻　博規（宇和島市産業経済部商工観光課）
→継続的かつ発展的な体制を構築する必要があり、市関係各課を参画させる。市長部局だけではなく教育委員会部局も参画させ、講座や教室への参画、貸館の協力、情報共有を図る。

事務局
宇和島市　商工観光課
・ヒアリングの実施
・研修会の準備、実施
・庁内、市民への在住外国人に関する意識醸

連携・相談

連携する各種団体
・他市の事例紹介
・実施体制等に関する具体的なアドバイス
・庁内、市民への啓発
・庁内の体制及び教室設置の可能性の検討

所属（担当課）	担当者名	職名
大阪産業大学	新矢　麻紀子	国際学部　教授
元東京大学	向井　留実子	次世代人文学開発センター　教授
一般社団法人部落解放・人権研究所	棚田　洋平	事務局長
公益財団法人愛媛県国際交流協会	伊藤　優子	副課長
宇和島市教育委員会	金瀬　聡	教育長
宇和島市産業経済部商工観光課	小櫻　博規	課長

（2）日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制

全体コーディネート：高橋　志野（愛媛大学国際連携推進機構）、深田　絵里（愛媛大学国際連携推進機構）
→経験や知見をいただきながら事務局と連携し、担当コーディネーターとしてプログラム展開を行う。知見を持ったコーディネーターを配置することで、日本語教室設置に向けた事業計画や展開方法などについて効果的に取り組んでいく。

在住外国人の状況把握、連絡調整：申　繁時（カトリック宇和島教会）、王　姿研（宇和島市役所吉田支所）
→市内在住外国人における拠り所の一つとして機能しており、生活実態、ニーズ調査及び講座への参加連絡等、本プログラムの橋渡し役として協力していただくことでスムーズな事業実施が可能となる。フォローアップも対応していただき、次に繋げる体制をつくる。

日本語ボランティアの発掘、育成：池田　多津子（吉田町国際交流協会）、川口　晴代（NPO法人ピースメーカーUWAJIMA）、瀬川　みどり（愛媛SGGクラブ）
→情報共有を図る勉強会からボランティア養成講座まで、メンバーの積極的な参加のほか、多方面への呼びかけに協力していただくことで多くの参加が見込める。

事務局
宇和島市　商工観光課
コーディネーター
・ヒアリングの実施
・研修会の準備、実施
・庁内、市民への在住外国人に関する意識醸成

人材の発掘・協力

連携する各種団体
・愛媛県国際交流協会
・吉田町国際交流協会
・宇和島カトリック教会
・ピースメーカーuwajima
・SGGクラブ宇和島支部　など

技能実習生受入れ事業所への訪問、ヒアリング
市民への啓発、関心のある方の参画促進

組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
愛媛大学	国際連携推進機構	准教授	高橋　志野
愛媛大学	国際連携推進機構	講師	深田　絵里
吉田町国際交流協会	－	会長	池田　多津子
NPO法人ピースメーカーUWAJIMA	－	代表	川口　晴代
カトリック宇和島教会	－	－	申　繁時
宇和島市役所吉田支所	総務係	国際交流員	王　姿研
愛媛SGGクラブ	宇和島支部	代表	瀬川　みどり

4. 具体的な取組内容

（1）年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和2年 4月	・技能実習生受入れ事業所への訪問及びヒアリング ・「宇和島闘牛×smileプチマルシェ」地域イベント参加	・事業所との日程調整 ・ヒアリング内容の検討 ・ヒアリングの実施	
令和2年 5月	・アドバイザー、コーディネーター等を交えたキックオフ会議の開催（オンライン） ・日本語学習サポーターの発掘、育成 ・日本語教室オンライン開催及び振り返り	・キックオフ会議の連絡調整 ・日本語学習サポーターの発掘、情報収集 ・教室の運営	※web会議 山田シニアアドバイザー（1回） 犬飼アドバイザー（1回） 御館アドバイザー（1回）
令和2年 6月	・事業計画書の作成 ・日本語学習サポーターの発掘、育成 ・日本語教室オンライン開催及び振り返り ・鳥取県境港市オンライン日本語教室　先進地視察（オンライン）	・事業計画書の作成 ・日本語学習サポーターの発掘、情報収集 ・教室の運営 ・視察のための各種調整	
令和2年 7月	・次年度以降の事業検討 ・日本語学習サポーターの発掘、育成	・日本語教育、受入体制プログラムの内容検討 ・日本語学習サポーターの発掘、情報収集	
令和2年 8月	・アドバイザー、コーディネーター会議（オンライン） ・次年度以降の事業検討 ・日本語学習サポーターの発掘、育成	・情報の整理 ・ミーティングのための連絡調整 ・ミーティングの実施、運営 ・日本語教育、受入体制プログラムの内容検討	※web会議 山田シニアアドバイザー（1回） 犬飼アドバイザー（1回） 御館アドバイザー（1回）
令和2年 9月	・松山市日本語教室「今すぐ日本語」 先進地視察（オンライン） ・日本語学習サポーターの発掘、育成 ・日本語教室チラシ作成、配布	・視察のための各種調整 ・視察及び勉強会の実施、運営 ・日本語学習サポーターの発掘、情報収集 ・チラシ作成、配布作業	
令和2年 10月	・日本語学習サポーターの発掘、育成 ・日本語教室開催及び振り返り	・日本語学習サポーターの発掘、情報収集 ・教室の運営	
令和2年 11月	・日本語学習サポーターの発掘、育成 ・日本語教室開催及び振り返り ・在住外国人へFacebookグループ及び日本語教室のお知らせ発送	・日本語学習サポーターの発掘、情報収集 ・教室の運営 ・文書作成、発送	
令和2年 12月	・日本語学習サポーターの発掘、育成 ・日本語教室開催及び振り返り ・お料理イベント開催	・日本語学習サポーターの発掘、情報収集 ・教室の運営 ・お料理イベントに係る各種調整 ・お料理イベントの実施、運営	
令和3年 1月	・次年度以降の事業検討 ・技能実習生受入れ事業所への訪問及びヒアリング ・広報用動画作成	・日本語教室、プログラムの内容検討 ・ヒアリングの実施 ・動画素材収集、編集	
令和3年 2月	・次年度実施に向けた事業展開の検討、協議 ・日本語学習サポーターや外国人住民を交えたプラン検討 ・広報用動画作成	・次年度事業案の作成 ・日本語教室、プログラムの内容検討 ・動画素材収集、編集	
令和3年 3月	・次年度実施に向けた事業展開の検討、協議 ・日本語教室オンライン開催及び振り返り ・アドバイザー、コーディネーター会議 ・今年度の振り返り	・次年度事業案の作成 ・教室の運営 ・日本語教室、プログラムの内容検討 ・報告書の作成	※web会議 山田シニアアドバイザー（1回） 犬飼アドバイザー（1回） 御館アドバイザー（1回）

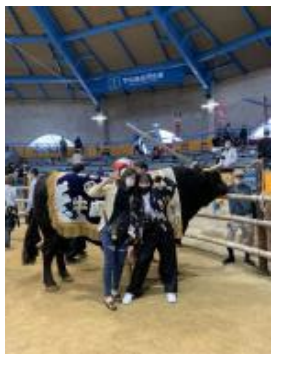
(2)立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	ココりん　うわじま		
外国人参加者について	[国籍]ベトナム、フィリピン、中国、韓国、カンボジア、タイ、インドネシア [属性]技能実習生、日本人の配偶者	参加者数 (内 外国人数)	受講者62名(外国人) 支援者94名(日本語学習サポーター)
開催時間数	総時間　27.5　時間	内訳　1時間　×　7回(オンライン) 1.5時間　×　9回(教室) 4時間　×　1回、3時間　×　1回(イベント)	
目標	生活に必要な日本語を楽しく学べる場所 外国人同士で集まれる、日本人と交流ができる場所 気軽に立ち寄れる場所		

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2021年4月4日(日) 11:00～15:00	4	宇和島市営闘牛場	9	地域イベント参加	・自己紹介 ・私たちの買い物について ・買い物で目にする日本語	日本語学習サポーター2名
2	2021年4月7日(水) 20:00～21:00	1	オンライン	9	買い物	・今日の晩ご飯 ・買い物について	日本語学習サポーター6名
3	2021年4月21日(水) 20:00～21:00	1	オンライン	8	数字	・数字の読み方 ・自分にまつわる数字	日本語学習サポーター6名
4	2021年5月12日(水) 20:00～21:00	1	オンライン	12	病気・けが	・受診の仕方 ・症状の伝え方	日本語学習サポーター9名
5	2021年5月26日(水) 20:00～21:00	1	オンライン	12	ごみの分別	・ごみの種類 ・地域の分別の仕方	日本語学習サポーター8名
6	2021年6月16日(水) 20:00～21:00	1	オンライン	11	災害・避難	・津波や地震について ・避難の仕方	日本語学習サポーター5名
7	2021年6月30日(水) 20:00～21:00	1	オンライン	7	避難所	・避難所での生活 ・災害が起きたときに不安なこと	日本語学習サポーター7名
8	2021年10月17日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	18	自分について	・自己紹介 ・自分について	日本語学習サポーター7名
9	2021年10月24日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	6	買い物	・買い物で困ること ・ハラル食品について	日本語学習サポーター5名
10	2021年10月31日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	5	ごみの分別	参加者0のため、日本語学習サポーターミーティング	日本語学習サポーター5名
11	2021年11月7日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	3	地域の生活	参加者0のため、日本語学習サポーターミーティング	日本語学習サポーター3名
12	2021年11月14日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市一円	5	交通と安全	参加者0のため、日本語学習サポーターミーティング	日本語学習サポーター5名
13	2021年11月21日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	6	病院	・症状の伝え方 ・病気で困ったことについて	日本語学習サポーター4名
14	2021年11月28日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	4	災害	・災害について ・身を守る行動について	日本語学習サポーター2名
15	2021年12月5日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	6	お祭り・行事	・地域の伝統文化について ・年賀状を書こう	日本語学習サポーター5名
16	2021年12月12日(日) 10:00～11:30	1.5	宇和島市役所A棟会議室	5	書類の書き方	・書類の種類について ・書類を書くときに困ったこと	日本語学習サポーター4名
17	2021年12月19日(日) 10:00～13:00	3	和霊公民館	30	お料理イベント	「日本料理を楽しもう」 お好み焼きといちご大福の調理	日本語学習サポーター11名
18	2022年3月3日(木) 19:30～20:30	1	オンライン	7	日本語教室でしたいこと	・今年度の振り返り ・来年度の日本語教室で、やってみたいことのアイデア出し	日本語学習サポーター2名

【主な活動】



地域イベント「宇和島闘牛×smileマルシェ」
参加の様子

地域日本語教室「ココりんうわじま」
第1回　自分について

地域日本語教室「ココりんうわじま」
第10回　お料理イベント「日本料理を楽しもう」

教室の立ち上げに係る問題とその対応策	コロナ禍においてもオンライン教室や密を避けた開催など、運営方法を工夫しながら継続して実施することができた。また、日本語学習サポーターの参加も多数あり、自立に向けた外国人への支援体制も整ってきた。しかし一方で、新型コロナウイルスの影響や家庭の都合により参加できないなど、外国人参加者はまだまだ少ない状況である。 その対応策として、地域日本語教室「ココりんうわじま」の活動をより多くの人に周知し、参加を促すことが必要であると考える。現在は、市HPやFacebookグループ、個別メール等でお知らせしているが、転入してきた配偶者や技能実習生などにもコンスタントに情報を発信していく必要がある。次年度以降は継続的な教室開催と併せてその取り組みを発信したり、より広範囲に届けることができる発信媒体を検討したり、一度参加した人はもちろん、参加したことがない人も行きたくなるような教室づくりを目指したい。

（3）その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
鳥取県境港市オンライン日本語教室　視察（オンライン）	2021年6月27日 2021年7月11日 10:00～12:00（2時間）	コロナ禍でも集まることが可能なオンライン教室を実施している境港市の様子を見学した。当市でも4～6月にオンライン教室を実施したが、繋がりが継続できたり、遠隔地に住む外国人の参加があったりした一方で、ネット環境による問題やグループワークの難しさなど、多くの課題も残った。先進地の運営方法を見学したことにより、オンライン教室のノウハウ獲得だけでなく、対面で開催した場合の学習の工夫や日本語学習サポーターと外国人参加者との関わり合いなど、多くの学びを得ることができた。
日本語学習サポーター勉強会（松山市日本語教室「今すぐ日本語」オンライン見学）	2021年9月5日 8:45～10:30（1時間45分）	日本語学習サポーター育成の一環で勉強会を実施。これまでの教室及び講座参加者を対象に、1～2年目の活動報告や下半期に向けての課題点を話し合った。また、松山市日本語教室ともオンラインで繋ぐことにより、教室の様子の見学や運営者との情報交換など、日本語学習サポーターとともに「ココりんうわじま」の取り組みについて改めて考えることができた。今後も定期的に勉強会や情報交換会を開催し、日本語学習サポーターの育成と教室運営の向上に努めたい。
技能実習生受入れ事業所へのヒアリング	2021年4月 2022年1月	本市の半数を占める技能実習生の受入事業所を回りヒアリングを実施した。実習生の受入状況や職場での様子、宿舎の環境などについて話を伺った。その中でも、日本語教室を開催してほしいという要望が多くあり、事業所としても日本語の上達によって仕事の幅が広がるため、積極的に参加を促したいとのことだった。その反面、新型コロナウイルスによる影響や、他事業所との交流の不安などの声も挙がった。定期的にヒアリングを実施し、意見を拾い上げながら試行錯誤していきたい。
事業報告	2021年10月21日 空白地域解消推進協議会 2021年12月25日 日本語教育学会	スタートアップで日本語教室を運営している本市の取り組みについて報告した。日本語教室設立の経緯や運営方法、効果のあった取り組みや逆に課題となっていることなど、他市町に向けて紹介するとともに情報交換で多くのノウハウも獲得することができた。南予は未だに日本語教室空白地域であるため、近隣地域にも本市の事例が活用され波及できればと考える。

【主な活動】

先進地視察
（鳥取県境港市オンライン日本語教室）

日本語学習サポーター勉強会
（松山市日本語教室「今すぐ日本語」見学）

日本語学習サポーター勉強会
（松山市日本語教室「今すぐ日本語」見学）

5. 今年度事業全体について

進捗状況	○新型コロナウイルスの影響により教室の内容が制限されることはあったが、事業については概ね計画通り実施することができた。 ○連絡や情報共有については適宜メールにて行い、コーディネーター間のミーティングや先進地視察はオンラインなども活用して実施した。
事業推進にあたり問題点と対応策	○日本語教室試行として数回開催したが、外国人参加者数がまだ少ないのが現状である。参加したくなるような仕組みづくりや幅広い周知、来て良かったと思えるメリットが感じられるような工夫をしたい。 ○外国人同士が繋がれる、日本人とも交流できる教室づくりを目指す。現在は、一つのテーマについて全体やグループで話し、その後参加者同士が自由に話す時間を設けているが、新型コロナウイルスの影響や参加者の少なさからかまだ生活の中での相談や雑談をしている様子は見られていない。教室で新たな交流が生まれるよう、次年度以降も継続して参加者の確保と教室の工夫に取り組んでいく。
成果	○コロナ禍においても継続的に日本語教室を実施することができた。新型コロナウイルスの感染拡大状況によりオンラインに切り替えたり、教室で集まれない際には地域のイベントに参加したりと、できる方法を模索しながら開催した。まだ課題も多くあるが、運営のノウハウを着実に積み重ねることができた。 ○先進地視察を実施したことで、今後の「ココりんうわじま」の方向性を定めることができた。また、コーディネーターだけではなく日本語学習サポーターも参加したことにより、関係者連携の必要性と育成にも繋がったと考える。 ○技能実習生受入事業所へのヒアリングを実施したことで、日本語教室への要望や懸念点など、現場の声からニーズを収集することができた。また、日本語を学びたい技能実習生が多くいることも知り、日本語教室の必要性を改めて感じた。
地域の関係者との連携による効果	○コーディネーターを務めた愛媛大学の准教授及び講師のサポートや、そのネットワークを活用した全体的なバックアップにより、年間を通してスムーズな事業実施が可能となった。 ○市内の国際交流団体や理解のある技能実習生受入事業所による参加の促しや送迎などの協力により、教室やイベントを着実に展開することができた。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(30H) ②体制整備のための調整(25H) ③人材育成のための調整(20H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(30H) ⑤教材作成に向けた調整(30H) ⑥その他(10H) (具体的な内容:周知媒体の検討、制作)
アドバイザーの主な助言	○市が目指す日本語教室「ココりんうわじま」の在り方がぶれてはいけない。日本語を学んだり交流ができたり、外国人の拠り所となる場所づくりが必要。 ○制度やシステムを整えるだけではなく、受け入れる側の意識改革が何よりも大切である。啓発は大変重要であり、多文化共生の実現には教室の関係者以外の日本人市民への周知啓発、意識醸成を行うべき。 ○日本語学習サポーターが一定数いるのは良い傾向。一般市民が徐々に多文化・共生社会について理解を深めている。 ○参加者獲得のためには、周知と並行して参加意欲が高まるカリキュラムづくりを行う必要がある。外国人参加者のニーズを把握したうえで、計画を組んでいく。 ○事務局は担当部署だけでなく、教育委員会や危機管理課、市民課など部署をまたいで連携すべき。
今後の課題	○外国人参加者の増加 ○周知方法の工夫 ○教室内容の充実、テーマ設定 ○日本語学習サポーターの発掘と育成の展開 ○持続可能な形での教室運営について ○人材面・予算面でのスキーム構築
今後の予定	○地域日本語教室の実施 ○技能実習生受入事業所へのヒアリング調査及び日本語教室に関する説明と協力依頼 ○持続可能な教室運営体制の構築のため、行政の政策的位置づけ ○経験豊富な地域日本語教室やオンライン教室を実践している先進地へ視察研修することにより、知見の向上やノウハウの習得 ○情報共有や適宜相談できるよう、視察研修する先進地等の他地域との良好なネットワークの構築 ○日本人と外国人とが交流する機会の創出のため、交流イベントや情報交換会などの実施 ○日本語学習サポーターの発掘及び育成のため、指導者研修や「やさしい日本語」研修の実施

本件担当　：　宇和島市産業経済部商工観光課観光係